

世界史 授業 No.19 テーマQ.&A.プリント

1. 今日のテーマ・クエスチョン

インドの新宗教成立とその背景とは？

2. テーマ・アンサーのキーワードをピックアップ

※教科書該当ページ（P. 36）の中から見つけよう！

アーリヤ人は前1000年ころからガンジス川上流域へ移動し、鉄器によって森林を切りひらき、農耕生活をはじめた。先住民を支配し定住化していくなかで、しだいにヴァルナ（「色」を意味する）とよばれる四つの身分と祭式を重視する（ 1 ）がうまれた。4身分とはバラモン（司祭）、（ 2 ）（武士）、（ 3 ）（農民・牧畜民・商人）、シュードラ（隷属民）で、その後、職業などによって細分された集団とも結びつけられ、長い時間をかけてインド独自の社会制度であるカースト制度が形成されていった。

前6世紀ころになると都市国家がいくつも生まれ、商工業も活発になった。それにともない武士階層の（2）や、商業に従事する（3）が勢力をのぼし、バラモンに対抗する新しい宗教がおこった。なかでも（ 4 ）（釈迦、尊称はブッダ）のひらいた仏教やヴァルダマーナのひらいた（ 5 ）は、バラモンを頂点とする身分差別に反対し、人々の支持を集めた。一方バラモン教側でも改革運動がおこり、思索を重視したウパニシャッド哲学が成立した。

<記入欄>

- 1 () 2 () 3 ()
4 () 5 ()

3. 今日のテーマ・アンサー（テーマ・クエスチョンの答）確認

※今日のノートに取った内容や2.でピックアップしたキーワードを参考にしよう。

T. Q. 「インドの新宗教成立とその背景とは？」

T. A.

コーサラ国と〔① 〕国の抗争により〔② 〕（貴族・武士）が台頭した。さらに〔③ 〕の普及に伴い商工業が活発化した。よってそれまでの反バラモンの動きに力もついてきて、ヴァルダマーナによる〔④ 〕教やガウタマ＝シッダールタによる〔⑤ 〕教、さらにバラモン教内部から、その形式主義を反省してウパニシャッド哲学が生まれた。

<記入欄>

- ① [] ② [] ③ []
④ [] ⑤ []

[] 年 [] H No. [] 氏名 []